田中家通信

発行
田中家石材
彦根市高宮町108-1
Tel. 0749-24-2789
VOL. 1

お彼岸のお墓参りは大切な伝統文化。

お盆は過去の慣習を知らず知らずのうちに学ぶ大切な行事である。とくに旧盆は久しぶりに故郷へ帰る人も多いだろう。こどもはおじいちゃん、おばあちゃんに会い、都会で味わえない田舎の風景、お墓参り、忘れがたい印象を頭に焼きつけて帰る。**自分たちの先祖には自然に手を合わすことを身をもって教える機会である。**

お彼岸は、九世紀初頭に早良（さがら）親王のために、諸国国分寺の僧を集め、春秋二仲月別七日、金剛般若経を読ませた、という『日本後紀』第十三の記述が文献上は初出ではないだろうか？

お彼岸であるが、この名称を使い始めたのはどうやら日本らしい。むろん中国にも春分秋分などに「日想観（にっそうかん）」をする習慣はあった。そして**涅槃を意味する「彼岸」**という言葉もあった。しかしその言葉でその春秋の七日間を呼ぶことはしなかったようなのである。

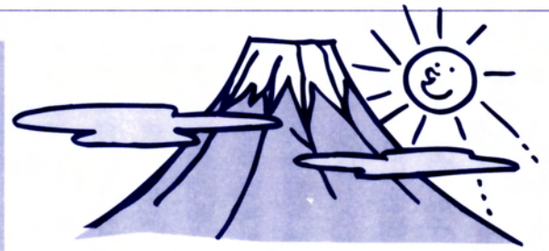
「日想観」とは、春分や秋分には太陽が真西に沈むから、その夕日が沈む方角にある浄土を観想するという行である。つまり、**当初のお彼岸は、まずは浄土を夕日に重ねて観想し、それによって我が身の業障（ごうしょう）を知り、ついには我が身を空にすることを目指したのである。**

陰陽説によれば、この世の最大の陰陽は冬と夏である。その陰陽が交代するのが**春分と秋分**にあたるわけだが、陰陽が交差するとき人間は最も無防備になると考えられている。漢方医学ではこのとき肩口が開き、病気はそこから入ってくると考える。これは人間でなくても同じことで、だから植物もこの時期、無防備に開いた幹から枝葉を伸ばすのである。善い物も悪い物も入りやすい。それは一日という小さな単位では夜明けと日没に当たるため、人が風邪をひくのもこの時間、それで修行道場では夜明けと日没には必ず座禅しているのである。

考えてみれば、真西が浄土の阿弥陀如来なら、真東には瑠璃光の薬師如来がいらっしゃる。脇侍に太陽（日光菩薩）と月（月光（がっこう）菩薩）を従え、陰陽のバランスこそ健康なのだと主張されているのである。眷属（けんぞく）の十二神像は、その功徳が一年十二カ月に及ぶようにとの計らいだろうか。

日想観によって心身をニュートラルに戻し、蓄積された記憶から開放されて心身ともに空になる。それがお彼岸発生の主旨だと考えたいのだが、しかし夕日に心身の理想状態を観想するといっても、イメージしにくいかもしれない。当時日本にはまだ禅は入っていないわけだが、禅的に自由に考えれば、**東の薬師が因を司り、西の阿弥陀は果を司るという。**つまり原因を探って治療するつもりなら朝日に向かって観想し、結果としての現状を受け容れるなら夕日に向かえ、ということではないだろうか？黎明に人体の神秘を感じ、清濁併せ呑む夕日に人は矛盾のままに受容されるべき人生の深みを感じとったのだろう。**それは治療なら薬師、往生なら阿弥陀ということでもある。**いずれ私たちの一生は、この薬師と阿弥陀の間の逍遥なのだから、あらゆる元素のスペクトルを孕んだ太陽の不思議な光の前で、人は厳粛に観想する。しかも祈祷に縋っても、そこには**大日如来という太陽**があった。太陽という偉大な自然のもとに生きる人間への眼差し、いや人間そのものがそこでは不可思議な自然と捉えられている。**「自分」とは「自然」の「分身」のことであったのだ。**

（『大法輪』（有）大法輪閣／平成十四年四月号から転載）



「生老病死」

人は四苦に悩んだあと、お葬式、お墓に入ることになる。そして現代人の多くはその段取り、準備でまた悩む。それもこれも時代の変化のせいだろう。これも同様、自分で手当するしかない。

日本ではじめての告別式が自由民権運動をやった中江兆民であり「自分は宗教を信じないから葬式は不要。ただちに茶毘に付すこと」と遺言していた。そこで考え出されたのが告別式。同じ土佐藩出身の板垣退助が青山墓地で弔辞を読んだ。

社葬隆盛の中、断固これを拒否したホンダの創業者、本田宗一郎。社葬の変わりに「お礼の会」が開かれた。お別れ会でも偲ぶ会でもなく**「皆様のおかげで幸せな人生でした。どうも有難う」**。大きなパネルの写真にそえられた言葉。

要はこれらの伝統文化、慣習をいかに知っておくか。そのことの大切さを思う。

石の上にも九十年 **株式会社 田中家石材**
（お墓）（墓地）等、石に関するご相談は
〒0120-68-1082
■会社概要
●許可登録／滋賀県知事許可　第〇五一二七四号
●営業品目／寺院関連製品（各宗派吉相墓・記念碑等）
社寺関連製品（鳥居・記念碑・狛犬・灯籠・玉垣等）
環境石材製品・モニュメント・公園石施設・美術工芸品等
化石・鉱物・宝石・岩石・珍石等
●技術資格／厚生労働大臣認定　石積一級技能士
厚生労働大臣認定　石貼一級技能士
厚生労働大臣認定　石材加工一級技能士
◆松下電工労働組合加盟店　◆プリヂストン生協加盟店　◆財務省印刷局彦根朝陽会加盟店
全優石 全国優良石材店
田中家石材 創業九十年